

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>客観的 具体:変化・比較 5W1H 批判的思考力</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>真ん中の方に写真をいれるとよいレイアウトになる。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>新聞とは正しい情報を伝えるもの。 自分の意見(批判的思考等)をいれていいのか。</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>貴重なお時間をありがとうございました。 私は科学の授業で書く新聞のレイアウトに 困っていたのであるが、この言葉義が とても参考になりました。</p>

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力が必要 賛否がわかれない - マ考察 市民生活 疑問 関わるテーマ 関心 問い 原因 影響 仮説 情報収集 整理 話を組み立てる 具体的</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>記事を書く時に、市民生活に関わるテーマなどが人 々の関心が高い。批判的思考力が必要で疑問 を持ってインタビューする。インタビュー術、①下調べをする②扱 りを決めすぎない③事前に考える質問④アンの姿勢で臨む ⑤具体的、変化について比較⑥聞いて更に疑問を考える⑦⑧の敵⑧想定の あわせる</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>相手の話をうまく聞く方法。聞き上手になるには? 下調べはどこまでしても良いのか?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>記事を書く時の基本技のお話の時「インタビュー術」というのを話 してくれていて、普段うまくできていないと気付いた。特に私はいつも 知らないのに知らったふりをして話を済ませるくせががあって、その時や 終わった直後は「帰ったら調べよう」と思っている。忘れて、ま ちんとその話を吸収できていない。今後は素朴な質問でもま ちんとその場で学べるようにしたい。また、いつもアクションがでず、 相手が聞いているか不安になってたずねてきたり、顔の前で 手をふるって確認したりすることがたまたま起こる。今後は、 きちんと反応できるようにしたい。</p>

- ① 知らったかぶりせが
素朴な質問
- ⑩ 聞き上手に
しゃべりすぎない
- ⑪ 正確、豊か有意
エール

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>うのみにせず、きもんをもつ 情報の価値をはたぐする さんごがかかぬやすい、テーマが考えやすい。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>いるところと いるないところをわけするためにすること ようど</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>いつもは、かんばつてなにしないで、文章をかいてくる かいはなしをきいて、よりよい文章をつくりあげていく ためのポイントをしることをかいてきた。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	テーマを設定する時は具体的に、替否の分かれるテーマが考察しやすいと分かった。市民生活に関するテーマは関心が高い。現場に行って聞いたことが一番大切。SWIH
S5: 新たに知ったこと	何でも疑問をもつことは批判的思考力の発達になる。出典と引用を書かないといけない。ポスターを作るときは調べたりFW、インタビューで情報を集め、知らない情報をあてる。書きだす前に組み立てをしてからまとめ、1つの段落に1つの話題を書くこと分かった。
S6: 疑問	何年この仕事をしているのか。ポスターと新聞のちがいは？
ふりかえり	他では教えてくれないような話が聞いていて面白かった。今やっている元素新聞やKPのレポートづくりなどに活かそうかと思った。今までは文を書いているときにどんなことを書くか忘れてしまったりしていたがこれからは頭の中で情報を整理してから書くようにする。インタビュー術で「知ったから」ではなくという項目があり、自分はインタビューの時に限らずそうなることがあるので事前には調べたり分らないとはどんどん聞くことを大切にしていきたい。

(2) ふり返り

新聞の書き方

S4: キーワード	メリハリ、バランスと大事に書く 一貫性
S5: 新たに 知ったこと	短く書く 段落をつけない 段と段が連続する
S6: 疑問	メリハリやバランスは具体的にどのようにつけているのか
ふりかえり	短かに見る新聞の中には、読者への様々な工夫があり 今後のスクリーンワークやポスター作りにいかせるものも たくさんあり、理解を深めることができたい。 自分は新聞のようなものを書くときに、メリハリが あまりつけられていないので、今後心がけていこうと 思います。

(2) ふり返り

S4: キーワード	5W1H 段落
S5: 新たに 知ったこと	5W1Hを必ず、ニュースに書かなければいけないことを 新たに知った。 レイアウトを工夫することで新聞のイメージが大きく変わることを 知った。
S6: 疑問	新聞を、始めから上手にかくコツはなになのか? 記事の重要度合いの決め方は何なのか?
ふりかえり	新聞を書くときの文章は、大きい文字でほとんどのそのエ ーの内容を理解できるようにすることが大切だとい うことが分かった。 また、文章だけでなくレイアウトなど、新聞としての 大切なることをたくさん学ぶことができたこと 思う。 教えてもらったことを参考に新聞を作ってきた。

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力 属性と回答 現場主義 逆三角形 先入観 デテール</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>ポスターの中心となる問いのテーマは賛否が 分かれるもの、市民生活に関わるもの。 写真に対する文の配置について 下からとると落ちついた、上からとるとたかかけるような写真になる</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>賛否が分かれるテーマを中心にすると書きやすい とおっしゃっていましたが、このご辞世炎上しない ように気をつけていることはありますか。</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>質問のときごたついてしまいびみょうな内容 ですみませんでした。 面白く、新聞記者という職業が身近に関わられる すばらしい講義でした。 ありがとうございました。</p>

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力、5W1H、具体的な問い、客観的状況 問題点、改善点</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>深夜に起こったことも新聞にかかないといけないから、はじめに結論をかき、その後説明するかき方がある。また、広告を小さくしたりすることもある。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>新聞を完成させるまで、どれだけの工程と時間が必要なのか？</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>問いを決める時は、賛否が分かれる物だと考察がしやすく、市民生活に関わる物だと関心が高い。 5W1Hがとても重要！ 見出しは記事の内容をまとめた物で、1目で どういう話題なのか分かるようにする！</p>

(2) 振り返り

S4: キーワード	具体的に、変化に注目、比較をする
S5: 新たに 知ったこと	賛否が分かるテーマが良い。 インタビューでは、 <u>3つまで質問を決めておく</u> べきという事。 写真の取り方 → 上から → うつたえる {動きのある 下から → おちついた {関係するものをうつす
S6: 疑問	自分が立てた問いの答えを予想してあった方が良い 理由
ふりかえり	私は、写真のとり方によって 雰囲気や伝わるものが変わるということに 興味がありました。記念写真がよくなるという 言葉には、ほとくは、共感しました。 インタビューの質問は決めるべきな方がいいという ことを聞いて驚きました。 その場で質問を考えた事というカを主わめられた らと思えます。

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的思考力 情報 問い 現場主義 仮説 インタビュー</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>・下調べのしずきはよくない → 先入観ができてしまうため ・取材対象の客観的情報を把握 取材対象に問題点と改善点を示す。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>・現場主義は絶対と言っていたが、現場に行くことができない場合にどうしているか ・手に ZOOM などしてインタビューできる場合気を付けていることは何か</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>チームに対して、疑問を持つ (批判的思考力) 具体的な「問い」 → 「仮説」 → 情報を集めて整理。 <u>情報</u> 信 ・信頼できるか、ネット情報のうのみ× ・現場主義は絶対 (インタビュー、アンケート、フィールドワーク) <u>質問</u> ・明確に答える、サテライトの属性 (性別、年、職) と回答の関連がある → 分析がしやすい。 ・SWIIT: 客観的情報の把握、問題、改善点を示す。 <u>レポート</u> → メリハリ、バランス <u>レポート</u> 見出しの骨組み → 写真の場所、サイズ → おいてみる → あいた所に記事 → 見出し、写真説明。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	批判的思考力、SWIIT -
S5: 新たに 知ったこと	新聞は×/11/1 - バランスの取 替否か分かるものや、市民の生活に 関係するものは丁寧にしたい。 心掛もたせたい。
S6: 疑問	最も重要な記事を知る基準は?
ふりかえり	これから科学の7新聞を書くときに重要なやつは 一番上で太字で書くなど×/11/1 バランスを大切に 7この11/11/11で学んだことなどこれからの11/11/11

(2) 振り返り

S4: キーワード	「5W1H」はニュースの基本 (いつ when, どこで where, だれが who, なにを what, なぜ why, どのように how) 批判的思考力(疑問をもつ、情報の価値を判断する)
S5: 新たに 知ったこと	○記事のテーマは賛否が分かれるテーマや市民生活に関わるテーマが良い。 ○新聞の読者が文を読み順番を間違えそうになる新聞は成り立たない。 ○新聞のハリに中くらいの目立つ記事をおく。テーマから目を離さない。
S6: 疑問	○人の目を引く見出しを書くにはどうすれば良いのか。 ○新聞に書かれているコラムやクイズはなぜかこのようにして作っているのか。 ○記事の原稿のつけ方はどのようにしているのだろうか。
ふりかえり	はじめ、新聞を書くときに気をつける必要がある点、≠信ぴょう性があることを書く点や大事なニュースを大きく書く点、くらいしか知らなかった。しかし、講義をお伺いし読みやすさ、一行の文字数や中央に絵や写真を配置することで新聞が引き締まるなど読み手のことを考えた工夫の必要性を実感した。今後、元素の新聞を書くことになっているのだが、メリハリがあり、バランスのとれた紙面にするために、大きな見出しを上の方におき見出しの大きさから記事の重要度が分かる新聞になるよう教わったことを活かしたい。

(2) 振り返り

S4: キーワード	新聞・批判的思考・引用・問い ポスター・インタビュー・レイアウト
S5: 新たに 知ったこと	(具体的な) 問いは市民生活に関わるテーマ が良い。 インタビューの時は型にはまりすぎない。 新聞は完成していても新たに重要な情報が入ったら 朝までに取り入れる。
S6: 疑問	その日に重要な情報があった場合、どのように 優先を決め、配置を決めるのだろうか？
ふりかえり	話を聞いていて、聞いた事があるものは たくさんあったが、それほど重要視していな かったものがあった。特に2つある。1つ目は 「情報をうのみにしない、事だ。よく聞く話 だが、 ^{私は} 情報量が少ないとどうしてもその情報 をうのみにしてしまうことがあるのでKPの時 などは気をつけようと思った。2つ目は 「誤字をしない、事だ。私はこの話を聞くと しても「や、ちやたら」くらいであまり重要視していなかった。 しかしこの講義を聞き、誤字をすると信頼を 失うという誤字をしてはいけないちゃんとした 理由を知った。そして誤字はしてはいけない ことを理解し、しっかり音読などをして 確認しようと思った。

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>◦ 清書 ◦ テーマ設定 ◦ 5W1H ◦ 説明は、きり ◦ 相手のリズム</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>自分の略語を作って使う ⇒ わかりやすい 取材 → 清書 ↳ これをすると字が汚なくてもわかるようになる!</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>「他の人の目線の記事を書く」とは?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>私は英語の疑問文で 5W1H を習ったので、 記事でも 5W1H が心がけられていることにおどろきました。 「他の人ならどうやって記事をかいたか」という視点を 持ったことかやなかったため新しい視点をもらったこと に感謝しています。三好さんに教わったことを使って もっとうまく記事やポスターをまとめられたらいいなと 思います。</p>

S4: キーワード	事案と意見 5W1H 客観的 デジタルカ
S5: 新たに 知ったこと	X11/11とバランス トップが大きく見えるように工夫されている 目立つ記事はヘンにおかぬ
S6: 疑問	なぜ段落一つにつき一つのテーマなのか なぜおかぬたときのほうが見やすいのに、どうしてまとめた のか
ふりかえり	書きたいことを要約することが大切、 いつ、だれが書いたかを忘れない、

(2) ふり返り

S4: キーワード	常にテーマを中心に書く <5w1H> いつ(when) どこ(where) 誰(who) 疑問を持つ 何を(what) なぜ(why) どのように(How) 問題点、改善点
S5: 新たに 知ったこと	新聞の記事を書く時には逆三角形型を使うらしい (はじめに結論があり、次に理由を書く文の形) ⇒ 短縮しても言いたいことが伝わるようにするため。 インタビューの際は、事前に考える質問は3つくらいにするらしい。
S6: 疑問	・インタビューの質問は、どうやって決めているのか? ・どの記事にどれくらいの量をとするのかどうやって決める? ・新聞は、書く時間が少ないと思うが、どうやって 誤字脱字などをほぼなくしているのか。
ふりかえり	中学生になって、ポスターを作ったり文章を書いたりすることが 増えました。なので、たくさんコツを教えてもらってよかったです。特 に、新聞の読んでもらうやすくする文の配置や、 レイアウトの話は、とても面白かったです。何気なく見ている新聞 ですがこんな風に工夫がこらされているからこそたくさんの情報が あっても見やすいんだなと思いました。また、記事を書く時の基本の テクニックもとても参考になりました。 ためになるお話をきけてよかったです。

(2) ふり返り

S4: キーワード	問 い
S5: 新たに 知ったこと	フィールドワークは下調べをしすぎず、細かくメモを取ることが大事。
S6: 疑問	なぜ下調べをしすぎてはならないのか。
ふりかえり	最近レポート提出が増えてきていたのでとても参考になった。 新聞はいつも読みやすいなとは思っていたが、配置にそのような工夫がこらされていることは知らなかったのでおどろいた。

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>5W1H → 問題点、改善点 批判的思考力 客観的状況 FW、インタビュー、アンケート</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>5W1Hはニュースの基本 どんなテーマでも情報をうのみせず、「批判的思考力」をもち、 問題点や改善点を考えることが大事 賛否が分かれるテーマは考察がしやすい、市民生活に関わるテーマは 関心が高い</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>FWやインタビュー、アンケートはどんなメリットやデメリットがあるのか レイアウトのきめかた 話をまとめるときに大事なと</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>知らなかつたことを新しく知ることができて良かった。FW、アンケート インタビューをするときに大事なことは実証してみたいと思つた。 話をまとめたり、くみかたでたりするときは5W1Hを使つてほしい。 情報をあつめて整理し、おもしろい文章をつくりたいと思つた。</p>

(2) 振り返り

S4: キーワード	批判的思考 情報 5W1H アンケート・インタビュー・フィールドワーク 客観的取材 段落 テーマ レイアウト 見出し 記事 改善
S5: 新たに 知ったこと	・初めにおおまかな説明を書き、その後にくわしい説明を書く ことで、新たな大きいニュースが入った時にすぐ組みこめる ようにしていること。 ・横書き、縦書きをあえて混ぜることにより、変化をつけやすい 紙面にできること。
S6: 疑問	・新聞を書く際に、どのようにニュースの内容を要約するのか。 ・1面だけでなく、他の面はどのようなレイアウトにしてい るのか。
ふりかえり	今後、科予では元素新聞、KPではポスターを作っていくので、 今回の講演はとても役立ちました。特に、記事の書き方だけ でなく、レイアウトについても説明していただいたのがとても 嬉しかったです。今まではポスターや新聞のレイアウトを考えるのに とても苦心していたのですが、今回おしえていたコツを 上手く利用すれば、今までよりも目をひくポスター・新聞が 作れそうです。また、記事の書き方についての解説もとても 勉強になり、「5W1H」を使えば、詳しく、そして分かりやすい 記事を書けるようになりそうです。今回の講演で得た知識・ 技術をこれから活かしていければ良いなと思います。

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>見出し 相手のリストに合わせる 出典をかく</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>書き出前に訪を細みたてること 見出しを10字以内 3本までで書くこと</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>批判的^①思考力によるリットとは</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>今回の講演で新聞にはたき人の工夫が あふこいねた KIPの中でもこの工夫を活用していきたい</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	5W / H When where who why what How
S5: 新たに 知ったこと	書き出す前に話を組み立てる。 5W/Hをしっかりと書く
S6: 疑問	特徴的なニュースが何もない場合は、なにを書くのか。 野村浩一 取材
ふりかえり	今後ポスターや新聞を作る時にこれを 参考にできそうな講演があった。 今日の話を参考にしやすいポスターを書いてい こうと思った。

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>・ <u>事実と意見</u> <small>客観的に</small> ・ FW 現場主義鉄則 ・ 5W1H ・ 批判的思考力</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>レイアウト → メリハリ・バランスのある紙面に。 写真の位置にも気をつける。 FW は あまり下調べはせず、細部もメモする。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p><u>信頼</u> できるところ 2つ以上のサイトの意見が 分かれたら、どちらと <small>記事 テーマ 同じ</small> に使えばいいのか (参考にする)</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>テーマを決めたり、記事を書いたりするときなどに 批判的思考力が <u>必要だ</u> ということを知った。 絶対に そして、FW では 先入観 ができるためあまり 下調べをしないほうがよい ということを知った。 ポスター・新聞は <u>写真の位置</u> に気をつけようと思った。 <u>と書くとき</u></p>

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>必要な情報を集めて整理すること テーマから外れていかなること</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>5w1Hのニュースの基本 取材対象に下調べしておく</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>なぜ16歳いからしか けんけつがでいせなののか、</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>今回ウニラギで"現在科学で ポスターを喜がないといけな 中、と"のように書いたう良、 なと"が"分かりやすく話して いたためになったと思ひます。</p>

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>・批判的思考力、仮説 ・5W1H</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>賛否が分かれるテーマが考察しやすく市民生活(日常)に関わるテーマは関心が高いということ。</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>・記者の人はどのくらいインターネットを信頼しているのか? ・本当かうそかの情報の見分け方は?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>新聞記者の方は話し方、質問の仕方からものすごく上手だとこの講演会を通して思いました。今回でテーマの決め方についてたくさん知ることが出来てよかったです。KPの論文だけでなく新聞を読むにあたり、自分にはまだ英語が必要だと思ったので、そこをかんぽりたいです。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	批判的思考 段落 レイアウト
S5: 新たに 知ったこと	5W1Hというニュースの基本があったということ。 インタビューは段取りを決めすぎない。 大きな見出しは上で、ハイトの中くらいの目立つ記事をおく 見出しは十数字まで。 見出しと前文で内容がわかればいい。
S6: 疑問	新聞をつくる時間はどれくらいあるのか。 客観的情報をばあくしなきゃいけないか! 主観的にならないようにどうやって代わっているのか。
ふりかえり	新聞はインタビュー内容をただ要約しているだけかと思っていたけど、思っていたよりもルールが決まっていた。読者の読みやすさに工夫されていると知ってびっくりしました。トシカに、パッと見て、今日の内容を知らないので、さまで考えて見出しを書いている人はすごいな、と改めて尊敬しました。 自分は要約が上手ではないので、読みやすいように新聞でまとめられている人は本当にすごいなと思いました。

<p>S4: キーワード</p>	<p>インタビューの時は3つの質問が「鉄則」 ・新聞の全てが見出しと前文 ・批評的思考、デザイン力、経験が「いい記事」に不可欠 ・見出しは10〜13字まで</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>テーマは賛否が分かるテーマがいい → ティベートと似ている (想像力) ・やはり現場で「経験をつよめ」がインタビューなど一番いい。 ・見出しを短くおとすに、早く情報を伝えたい新聞の思いが 表れている。 ・やはり人は釣りに近いことに興味があるんだ</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>記事の書き方のコツはいつの時も知った後、^{頭で覚えるのか}「覚えるのか」 ・新聞の全てが見出しと前文だと言ったが、見出しを新聞の一面の 右後に記事を入れるという感じになるのはなぜだろうか？ ・いかに読者の興味を引くか、おなじみのアトリスの質問の「いい」のか</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>まず三好さんはいろいろ講演をしてくださったので、基本的に たたみだけの講演とは違い、新鮮だった。新聞というものは 小さいボクサーみたいなことから100%この学校に合っている講演 だった。ぼくはティベートをやるけど、見出し(10〜13字)所を いかに見出しのウケも3〜4単語、記事の書き方もスピーチ を書く時に役立ちそうな内容で、とても良かったです。 とにか、まずは科学の授業の原素新聞をこの講義を 活用して作る予定です。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	SWIHT+Which+How much
S5: 新たに 知ったこと	新聞記事を書くときやインタビュー・記事の配置などのコツについて、 批判的思考力の大切さ。
S6: 疑問	どうすればあんなに上手く話をまとめられるのか。
ふりかえり	新聞やポスターのまとめ方についてよく分かった。 話が面白くて、とても楽しく学べる講義だった。 いっかは自分もポスターを使ってあのようなすごい発表 ができるようになりたい。

(2) ふり返り

S4: キーワード	批判的思考力 現場主義 SWIH
S5: 新たに 知ったこと	When, Where, Who, What, Why, Howの SWIHがニュースの基本であること。 インタビューは現場主義が鉄則だが「下調べしすぎ」は いけない。
S6: 疑問	ヨコ書き記事をつくる理由とは。
ふりかえり	特にレイアウトが勉強になった。段差を付けない、 飛びこえない、腹切りしない、など知られさせない と今回の講演がなければ「あやまたレイアウト をしてしまっていた。

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p><u>批判的思考力</u> フィールドワーク → 細部をメモ、下調べしすぎない 現場主義</p> <p>賛否が分かれるテーマが考察しやすい ブレイクアップ → 原因は？本質は？影響は？ SWIH トップと真ん中を対立させて紙面化</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 賛否が分かれるテーマが考察しやすいということ・ ネット情報はうのみにしないということ・ フィールドワークでは下調べしすぎはいけないということ・ アイトールでは、サンプルの属性をすること・ インタビューするときには段取りを決めすぎず、しゃべりすぎず聞き上手にならないといけないということ
<p>S6: 疑問</p>	<ul style="list-style-type: none">・ なぜフィールドワークで下調べしすぎはいけないのか・ インタビューするときには段取りを決めすぎはいけないのか
<p>ふりかえり</p>	<p>今回の三好さんの話で、知りたかったことや次のフィールドワークで役に立つようなことをたくさん知れた。そのことによってたくさん疑問がうかんだ。フィールドワークでは下調べしすぎないことを次のフィールドワークでも活かしたい。何かのきっかけでインタビューするときも聞き上手になり、段取りを決めすぎないようにしたい。</p>

S4: キーワード	比較、具体的、関心
S5: 新たに 知ったこと	・ 関心を深めるために他の研究とも比較すること。 ・ 市民生活に関わるテーマは関心が高い。 ・ 関心は賛否がわかれるものが多い。 ・ フィールドワークでの下調べのしなさは先入観ができしまうのでやめたほうがいい。
S6: 疑問	・ 市民生活に関わるテーマはなぜ関心が高いのか。
ふりかえり	これからのKPでテーマを決める際の参考になったと思えました。テーマの決め方がわからなかったが、この講演を聞いて自分の興味のあるものをテーマにしてみようと思えました。この講演の1週間後にフィールドワークがあるけど、その時に役立つと思えました。なのでフィールドワークでは講演できなかったことをふまえてやると思えました。これから、アンケートやインタビューをやることもあると思うので、その時にはこの講演できなかったことを使ってアンケートとかをしてみたいと思えました。科学の新聞をつくらが、そのときに、見出しでどんなことかかかっているか予測できようかな、よい記事だしたいです。一目で必要なことがわかるような努力をしたいと思えました。

(2) ふり返り

S4: キーワード	記事内容は見出しに要約!!
S5: 新たに 知ったこと	新聞の記事は事前に2日前くらいに用意されていると思っていたが、30分前(しめくり)でも記事の変りがあるんだと初めて知った。
S6: 疑問	S5につなげると、S5の記事へはこうはどのようになっているかと記事が変わっていかないと不安。
ふりかえり	あまり、新聞についてなどは講義して下さる方が少なかったため、しっかり聞くことができた。知っていることは「わり」だったので、たくさん勉強になったことがあった。もと要約があるための「方法」を聞いたと思った。

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>批判的、思考力 5W1H カタ、ヘッ</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>5W1H は絶対にかく 写真を貼り付け具体的に 横見出しもある トップが大きく見えるように工夫</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>なぜ一番大事な話を最初に置くのか。</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>三好さんの話はとても貴重な体験でした。 この話をきいたことにより、元来新聞やその他の 新聞を書くことがもっと簡単になりました。 貴重な話を約2時間ありがとうございました。</p>

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>テーマを設定し、具体的な質問を決める。 テーマ → 興味関心の絡み → 批判的・省り思考が必要</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>フィールドワークのコツ - 甲子園で役立つ ・現場主義の鉄則 ・直接取材でわかることが多い。 ・下調べは必ず先見がてまからせておく。 → 現場視聞を → 知るための → テキスト</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>なし</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>次回のフィールドワーク(甲子園)で役立つような フィールドワークのコツやノウハウをPDF化して いるような新聞をつくるためのコツ(取材・新聞 作り・執筆)を採ることで できて良かったと思っている。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	客観的に見る
S5: 新たに 知ったこと	問題と改善点を示し客観的に見る ことが大切
S6: 疑問	^{三好さんは} 基本技をしっかりとおさえているのだろうか。 (少しアレンジしたりなど)
ふりかえり	5W1Hをおさえて二 それがおさえられて いるもの → ニュース いるセットでしっかり テーマを設定することとした文章(=ス) による記事は初稿 1を報道でまわっている 現場に行くことが大切である また最後には情報を集めて整理しな ければならない

(2) 振り返り

<p>S4: キーワード</p>	<ul style="list-style-type: none">・批判的思考力・5W1H・客観的状況・問い・段落・テーマ
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<ul style="list-style-type: none">・情報をうのみにせず、批判的思考力をもつ。・5W1Hはニュースの基本となる。・同じ話題は同じ段落に。・縦書きの中に横書きがあっても良い。
<p>S6: 疑問</p>	<ul style="list-style-type: none">・文章に色ペンで線を引くことはポスターを書く上で効果があるのか。・一文の長さの目安
<p>ふりかえり</p>	<p>専門的な知識を学べてよかった。特に、急な変更があったときのために、大切な内容は前の方に書く、という話はとてもしょうげきを受けた。その日に出たニュースもすぐに新聞にする生活なんて、自分にはできないと思うので、すごいと思った。</p>

(2) ふり返り

<p>S4: キーワード</p>	<p>・批判的思考力 ・現場主義 ・逆三角</p>
<p>S5: 新たに 知ったこと</p>	<p>はじめに結論を書いてから説明をかくのがよい ・ハヤヒ中くらいのもたつ記事をおく アンケートをとるときは略語をつかうのが効果的。 見出しは数字3本まで</p>
<p>S6: 疑問</p>	<p>もたつ記事を真中におくのはなぜか。 朝刊をばてかくのは何人が記事をかくの力?</p>
<p>ふりかえり</p>	<p>今回の講義では、実際に記者の方からアンケート のツツヤのような記事をかきと上の人が目を 引く構成などを伝授していただき、非常に有意義 な体験となった。 また、この講義を通じて、上記のことだけでなく、新聞 記者の魅力や、取材する人への態度なども学んだ。 今後この経験をKPなどに活かしていきたい。</p>

(2) ふり返り

S4: キーワード	5W1H → ニュースの基本 いつ (When) 何に (What) どこ (Where) なぜ (Why) だれが (Who) どう (How)
S5: 新たに 知ったこと	レイアウト ↳ 配置を工夫する 同じ話題 ↳ 同じ段落に!
S6: 疑問	疑問というよりは質問です。 ポスターがうまくできなくて、調べた中でも記されていない情報を 書いてしまうケースがあります。どうしたらいいですか、
ふりかえり	ポスターや新聞の書き方のコツは Google で調べても詳しくは わからないので、プロの三好さんに聞くことができすごく参考に なった。 科αの元素記号新聞でも役に立ちそうな情報を得ることができて うれしかった。

(2) ふり返り

S4: キーワード	SWIH、客観的状況、問題点と改善点を示す
S5: 新たに 知ったこと	質問は3つ程度が良い。テーマから目を離さない SWIHを記事に入れるのは鉄則 取材対象の客観的状況を把握 取材対象に問題点と改善点を示す
S6: 疑問	新聞記者はどのくらいメモがたばやく正確なのだろうか 新聞が毎秒単位で変わっていて本当に間に合うのか
ふりかえり	新聞の記事は毎分ごとに入ってくる有力な情報を紙面におさめるために要な部分だけ残し、いらぬ部分を捨てるなどして紙面におさめたりして、急な情報が来た後と前では全く違う新聞になってたりしていたので新聞は秒単位で動いているのだなと思ったりしました。 記事はまず話を集め、話を組み立て、一つの段落に一つのテーマ、そして同じ話題は同じ段落にする。そして取材対象の客観的状況を把握し取材対象に問題点と改善点を示すことがとても重要だとわかりました。